

News Release

平成24年 6月 1日

 兼松日産農林株式会社

技術部 : Tel 03-3265-8243

〒102-0083 東京都千代田区麴町3-2

浦安市が管理する施設を利用した液状化対策工法の実証実験を公開 —新工法「丸太打設液状化対策&カーボンストック工法」の検証—

兼松日産農林株式会社（社長：高崎實）、飛島建設株式会社（社長：伊藤寛治）、昭和マテリアル株式会社（社長：五十嵐閣）の3社は、千葉県浦安市舞浜の浦安市運動公園内で実施中の「丸太打設液状化対策&カーボンストック工法」の実証実験を、本日関係者向けに公開しました。

本実証実験は、千葉県浦安市（松崎秀樹市長）が民間事業者を対象に公募した「浦安市が管理する施設を利用した液状化対策工法の実証実験」に、上記3社（代表窓口：飛島建設株式会社）が本工法を提案し高評価で選定され、2012年4月に開始したものです。

本工法は、間伐材（丸太）を地盤に打設することによって、主には砂地盤を密実化することで液状化対策を行うものです。これにより、地震による液状化対策と、丸太のカーボンストック効果（炭素貯蔵を行い大気中の温室効果ガスを削減する効果）による地球温暖化防止対策の両者を実現します。今回の実験で、実際の地盤での実施工が可能で、小型の施工機械で低振動・低騒音の施工が可能であることが実証されました。今後、地中に丸太を打設することによる液状化対策効果、カーボンストック効果について追加実験などを行い検証して行く予定です。

公開実験には、大学、官公庁、民間会社などから300名以上の参加者がありました。本工法と地盤調査結果の説明会と丸太打設状況の見学会の後、活発な質疑応答や意見交換があり、液状化対策および木材を用いた地球温暖化防止対策への関心と期待の高さがうかがえました。

3社は、本工法の共同開発を進め、今年度内に、設計法、施工法および品質管理方法を確立して、実用化を図っていきます。



小型施工機械による丸太の打設状況



実証実験現場に打設された丸太の状況

■ ニュースリリースおよび技術・資料に関するお問い合わせ

兼松日産農林株式会社 ジオテック事業部 技術部

水谷 羊介 TEL: 03-3265-8243